

農学研究科 農学専攻

博士前期課程

教育研究上の目的

作物または園芸作物の生産、育種、バイオテクノロジー、ポストハーベストおよび農作物に関わる微生物や昆虫類に関する専門的な学識と研究能力を修得し、発想・問題解決能力を備えた人材の育成を教育目標とする。

養成する人材像

環境の保全・保護を図りつつ、安全で高品質な農作物を安定的に生産、流通させる技術の実学的な視点を踏まえて、農作物およびそれに関わる微生物や昆虫類に関する専門的な学識と研究能力を修得し、卓越した発想・問題解決能力と強い使命感を持つ教育者、研究者、高度な専門的技術者などの人材の養成を目的とする。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

農学専攻博士前期課程は、作物または園芸作物の生産、育種、バイオテクノロジー、ポストハーベストおよび農作物に関わる微生物や昆虫類に関する分野において、優れた発想および問題解決の能力を備えた人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下のような能力を備えた学生に修士の学位を授与する。

1. 各専門領域において確かな知識と技術を有している。
2. 専門技術者、教育者、研究者としての能力を有している。
3. 論文執筆や口頭発表を行う能力および多様な発信力を有している。
4. 科学者としての倫理を理解し、農業現場および広く社会における問題に目を向け、問題解決に取り組む意欲と能力を有している。

履修方法

必修科目 20 単位、選択必修科目 4 単位（特論科目の中から主たる研究領域を選択）、選択科目 6 単位以上の合計 30 単位以上を修得すること。

博士前期課程

記号・略称は p.26、研究科共通科目は p.27 を参照してください。

科目区分	科目コード	科目名	単位	配当年次	必修選択	教職	担当教員
専攻科目 基礎科目	MS01232	論文英語	2	1 前	必		◎ 博士（農学） 岩 波 徹 教授
							◎ 博士（農学） 上 地 由 朗 教授
							◎ 農学博士 河 瀬 眞 琴 教授
							◎ 博士（農学） 西 尾 善 太 教授
							博士（農学） 丹 羽 克 昌 准教授

科目区分	科目コード	科目名	単位	配当年次	必修選択	教職	担当教員
専攻科目	基礎科目	MS01231 研究倫理	2	1 後	必		◎ 博士（農学）雨木若慶 教授 ◎ 博士（農学）岩波徹 教授 ◎ 博士（農学）垣内仁 教授 ◎ 博士（農学）上地由朗 教授 ◎ 農学博士河瀬真琴 教授 ◎ 博士（農学）篠原弘亮 教授 ◎ 博士（農学）高畑健 教授 ◎ 博士（農学）西尾善太 教授 ◎ 博士（農学）馬場正 教授 ◎ 博士（農学）藤澤弘幸 教授 ◎ 博士（農学）峯洋子 教授
		MS01233 プレゼンテーション法	2	1 後	選		◎ 博士（農学）篠原弘亮 教授 ◎ 博士（農学）馬場正 教授 ◎ 博士（農学）藤澤弘幸 教授
		MS01331 植物生理生態学	2	1 前	選	選	◎ 博士（農学）雨木若慶 教授 博士（農学）野口有里紗 准教授
		MS01333 草地学特論	2	1 後	選	選	博士（農学）北川美弥 非常勤講師
		MS01334 水圏生物学	2	1 後	選	選	博士（農学）森山俊介 非常勤講師
		MS01335 分子遺伝学	2	1 前	選	選	◎ 農学博士河瀬真琴 教授 ◎ 博士（農学）西尾善太 教授 博士（農学）丹羽克昌 准教授
	特論科目	MS01531 作物生産学特論Ⅰ	2	1 前	選必	選	◎ 博士（農学）垣内仁 教授
		MS01532 作物生産学特論Ⅱ	2	1 後	選必	選	◎ 博士（農学）上地由朗 教授 ◎※農学博士河瀬真琴 教授 ◎ 博士（農学）西尾善太 教授
		MS01533 植物保護学特論Ⅰ	2	1 前	選必	選	◎ 博士（農学）岩波徹 教授
		MS01534 植物保護学特論Ⅱ	2	1 後	選必	選	◎ 博士（農学）篠原弘亮 教授
		MS01535 園芸生産学特論Ⅰ	2	1 前	選必	選	◎ 博士（農学）高畑健 教授
		MS01536 園芸生産学特論Ⅱ	2	1 後	選必	選	◎ 博士（農学）藤澤弘幸 教授 ◎ 博士（農学）峯洋子 教授
		MS01539 植物機能・利用学特論Ⅰ	2	1 前	選必	選	◎ 博士（農学）雨木若慶 教授
		MS01540 植物機能・利用学特論Ⅱ	2	1 後	選必	選	◎ 博士（農学）馬場正 教授
	研究科目	MS01131 農学特別演習Ⅰ	2	1 前	必	選	◎ 博士（農学）雨木若慶 教授
		MS01132 農学特別演習Ⅱ	2	1 後	必	選	◎ 博士（農学）岩波徹 教授
		MS01133 農学特別演習Ⅲ	2	2 前	必	必	◎ 博士（農学）垣内仁 教授
		MS01134 農学特別演習Ⅳ	2	2 後	必	必	◎ 博士（農学）上地由朗 教授
		MS01135 農学特別実験Ⅰ	2	1 前	必	必	◎ 農学博士河瀬真琴 教授
		MS01136 農学特別実験Ⅱ	2	1 後	必	必	◎ 博士（農学）篠原弘亮 教授
		MS01137 農学特別実験Ⅲ	2	2 前	必	必	◎ 博士（農学）高畑健 教授
		MS01138 農学特別実験Ⅳ	2	2 後	必	必	◎ 博士（農学）西尾善太 教授 ◎ 博士（農学）馬場正 教授 ◎ 博士（農学）藤澤弘幸 教授 ○ 博士（農学）田崎啓 准教授

※：生物生産学特論Ⅱのみ担当

博士後期課程

教育研究上の目的

環境の保全・保護を図りつつ、安全で高品質な農作物を安定的に生産・流通させる技術の確立を目指し、農作物およびそれにかかわる微生物や昆虫類に関する専門的な学理を実学的な視点から教育・研究することにより、卓越した発想・問題解決能力と強い使命感を持ち、現場で発生する種々の問題に柔軟に対応して、国際的にも活躍できる独立した研究者、教育者、専門技術者などの人材を養成することを目的とする。

養成する人材像

環境の保全・保護を図りつつ、安全で高品質な農作物を安定的に生産・流通させる技術の実学的な視点を踏まえて、農作物およびそれに関わる微生物や昆虫類に関する専門的な学識と研究能力を備え、卓越した発想・問題解決能力と強い使命感を持ち、独立して活躍しうる教育者、研究者、高度な専門的技術者などの人材を養成する。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

農学専攻博士後期課程は、作物または園芸作物の生産、育種、バイオテクノロジー、ポストハーベストおよび農作物に関わる微生物や昆虫類に関する分野において、優れた人間性を有し国内外の研究・産業の発展に貢献する人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与する。

1. 本専攻における各専門分野における高い専門性を保証する国際的レベルでの高度な知識と技術を有している。
2. 協調性を持ちながらも独立して研究・教育あるいは専門家としての業務を遂行する能力を有している。
3. 多様かつ柔軟なコミュニケーション能力を有し、国際的に活躍しうる能力を有している。
4. 科学者としての倫理を理解し、農業現場および広く社会において自らの能力によって責任を果たそうとしている。

履修方法

必修科目 14 単位、選択必修科目 2 単位（特論科目の中から主たる研究領域を選択）の合計 16 単位以上を修得すること。

博士後期課程

記号・略称は p.26、研究科共通科目は p.27 を参照してください。

科目区分	科目コード	科目名	単位	配当年次	必修選択	担当教員
専攻科目	DS01231	英語論文作成法	2	1 後	必	◎ 博士（農学）雨木若慶教授
						◎ 博士（農学）岩波徹教授
						◎ 博士（農学）垣内仁教授
						◎ 博士（農学）上地由朗教授
						◎ 農学博士河瀬真琴教授
						◎ 博士（農学）篠原弘亮教授
						◎ 博士（農学）高畑健教授
						◎ 博士（農学）西尾善太教授
						◎ 博士（農学）馬場正教授
						◎ 博士（農学）藤澤弘幸教授
						◎ 博士（農学）峯洋子教授

科目区分		科目コード	科目名	単位	配当年次	必修選択	担当教員			
専攻科目	特論科目	DS01531	作物生産学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士（農学）	垣 内	仁	教授
							◎ 博士（農学）	上 地	由 朗	教授
							◎ 農学博士	河 瀬	眞 琴	教授
							◎ 博士（農学）	西 尾	善 太	教授
専攻科目	特論科目	DS01532	植物保護学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士（農学）	岩 波	徹	教授
							◎ 博士（農学）	篠 原	弘 亮	教授
		DS01533	園芸生産学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士（農学）	高 畑	健	教授
							◎ 博士（農学）	藤 澤	弘 幸	教授
専攻科目	特論科目						◎ 博士（農学）	峯	洋 子	教授
		DS01534	園芸機能開発学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士（農学）	雨 木	若 慶	教授
							◎ 博士（農学）	馬 場	正	教授
研究指導科目		DS01131	特別研究指導Ⅰ	4	1 通	必	◎ 博士（農学）	雨 木	若 慶	教授
		DS01132	特別研究指導Ⅱ	4	2 通	必	◎ 博士（農学）	岩 波	徹	教授
		DS01133	特別研究指導Ⅲ	4	3 通	必	◎ 博士（農学）	垣 内	仁	教授
							◎ 博士（農学）	上 地	由 朗	教授
							◎ 農学博士	河 瀬	眞 琴	教授
							◎ 博士（農学）	篠 原	弘 亮	教授
							◎ 博士（農学）	高 畑	健	教授
							◎ 博士（農学）	西 尾	善 太	教授
							◎ 博士（農学）	馬 場	正	教授
							◎ 博士（農学）	藤 澤	弘 幸	教授
							◎ 博士（農学）	峯	洋 子	教授

農学研究科 動物科学専攻

博士前期課程

教育研究上の目的

動物科学について、生体から分子まで様々なレベルで教育と研究を実践する。動物・畜産関連の幅広い分野で様々な課題に対応できる、高度な知識と技術を合わせ持つ人材を養成することを目的とする。

養成する人材像

環境保全を考慮した広範囲な畜産学・動物科学について生体から分子までのさまざまなレベルで生命科学領域と生産科学領域からの教育および研究を実践し、動物・畜産関連のあらゆる専門、学際分野で常に時代の要請に応え、活躍する高度な知識と技術を併せ持つ人材の養成を目的とする。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

動物科学専攻博士前期課程では、畜産・動物科学分野において、高度な知識と技術を合わせ持ち関連分野で様々な課題に対応できる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し修士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に修士の学位を授与する。

- 1) 畜産・動物科学分野を俯瞰した知識を持ち、諸問題を理解する能力を有している。
- 2) 課題に対し自ら考えこれを検証する意欲と、能力を有している。
- 3) 自ら導いた解決策を公表し、議論する能力を有している。
- 4) 科学者としての倫理を理解し、社会の発展のため取り組む意欲を備えている。

履修方法

必修科目 24 単位、選択必修科目 4 単位（特論科目の中から主たる研究領域を選択）、選択科目 2 単位以上の合計 30 単位以上を修得すること。

博士前期課程

記号・略称は p.26、研究科共通科目は p.27 を参照してください。

科目区分	科目コード	科目名	単位	配当年次	必修選択	教職	担当教員
専攻科目	MSI7232	論文英語	2	1前	必		◎ 博士（農学）岩田尚孝 教授 ◎ 博士（学術）内山秀彦 教授 ◎ 博士（医学）庫本高志 教授 ◎ 博士（畜産）桑山岳人 教授 ◎ 博士（農学）白砂孔明 教授 ◎ 博士（獣医学）鳥居恭司 教授 ◎ 農学博士 野村こう 教授 ◎ 博士（農学）半澤 惠 教授 ◎ 博士（畜産）平野 貴 教授 ◎ 博士（獣医学）増田宏司 教授

科目 区分	科目コード	科 目 名	単位	配当 年次	必修 選択	教職	担 当 教 員
専攻科目	基礎科目	MSI7231 研 究 倫 理	2	1 前	必		◎ 博士（農学） 岩 田 尚 孝 教授 ◎ 博士（学術） 内 山 秀 彦 教授 ◎ 博士（医学） 庫 本 高 志 教授 ◎ 博士（畜産） 桑 山 岳 人 教授 ◎ 博士（農学） 白 砂 孔 明 教授 ◎ 博士（獣医学） 鳥 居 恭 司 教授 ◎ 農学博士 野 村 こ う 教授 ◎ 博士（農学） 半 澤 恵 教授 ◎ 博士（畜産） 平 野 貴 教授 ◎ 博士（獣医学） 増 田 宏 司 教授 ○ 博士（畜産） 高 橋 幸 水 准教授 ○ 博士（医学） 小 林 朋 子 准教授
		MSI7233 プレゼンテーション法	2	1 後	必		◎ 博士（農学） 岩 田 尚 孝 教授 ◎ 博士（学術） 内 山 秀 彦 教授 ◎ 博士（医学） 庫 本 高 志 教授 ◎ 博士（畜産） 桑 山 岳 人 教授 ◎ 博士（農学） 白 砂 孔 明 教授 ◎ 博士（獣医学） 鳥 居 恭 司 教授 ◎ 農学博士 野 村 こ う 教授 ◎ 博士（農学） 半 澤 恵 教授 ◎ 博士（畜産） 平 野 貴 教授 ◎ 博士（獣医学） 増 田 宏 司 教授
		MSI7234 研究計画立案法	2	1 前	必		◎ 博士（農学） 岩 田 尚 孝 教授 ◎ 博士（学術） 内 山 秀 彦 教授 ◎ 博士（医学） 庫 本 高 志 教授 ◎ 博士（畜産） 桑 山 岳 人 教授 ◎ 博士（農学） 白 砂 孔 明 教授 ◎ 博士（獣医学） 鳥 居 恭 司 教授 ◎ 農学博士 野 村 こ う 教授 ◎ 博士（農学） 半 澤 恵 教授 ◎ 博士（畜産） 平 野 貴 教授 ◎ 博士（獣医学） 増 田 宏 司 教授
		MSI7331 特 別 講 義	2	1 後	選	選	◎ 博士（農学） 岩 田 尚 孝 教授 ◎ 博士（学術） 内 山 秀 彦 教授 ◎ 博士（医学） 庫 本 高 志 教授 ◎ 博士（畜産） 桑 山 岳 人 教授 ◎ 博士（農学） 白 砂 孔 明 教授 ◎ 博士（獣医学） 鳥 居 恭 司 教授 ◎ 農学博士 野 村 こ う 教授 ◎ 博士（農学） 半 澤 恵 教授 ◎ 博士（畜産） 平 野 貴 教授 ◎ 博士（獣医学） 増 田 宏 司 教授

科目 区分	科目コード	科 目 名	単位	配当 年次	必修 選択	教職	担 当 教 員
専攻科目	基礎科目	MSI7332 先端研究特別講義	2	1 前	選	選	◎ 博士（農学） 岩 田 尚 孝 教授 ◎ 博士（学術） 内 山 秀 彦 教授 ◎ 博士（医学） 庫 本 高 志 教授 ◎ 博士（畜産） 桑 山 岳 人 教授 ◎ 博士（農学） 白 砂 孔 明 教授 ◎ 博士（獣医学） 鳥 居 恭 司 教授 ◎ 農学博士 野 村 こ う 教授 ◎ 博士（農学） 半 澤 恵 教授 ◎ 博士（畜産） 平 野 貴 教授 ◎ 博士（獣医学） 増 田 宏 司 教授 ○ 博士（畜産） 高 橋 幸 水 准教授 博士（医学） 小 林 朋 子 准教授
		MSI7431 動物生殖学特論Ⅰ	2	1 前	選必	選	◎ 博士（農学） 岩 田 尚 孝 教授
		MSI7432 動物生殖学特論Ⅱ	2	1 後	選必	選	◎ 博士（畜産） 桑 山 岳 人 教授 ◎ 博士（農学） 白 砂 孔 明 教授
		MSI7433 動物遺伝学特論Ⅰ	2	1 前	選必	選	◎ 農学博士 野 村 こ う 教授
		MSI7434 動物遺伝学特論Ⅱ	2	1 後	選必	選	
		MSI7435 動物生理学特論Ⅰ	2	1 前	選必	選	◎ 博士（農学） 半 澤 恵 教授
		MSI7436 動物生理学特論Ⅱ	2	1 後	選必	選	◎ 博士（畜産） 平 野 貴 教授
		MSI7437 動物栄養学特論Ⅰ	2	1 前	選必	選	◎ 博士（医学） 庫 本 高 志 教授
		MSI7438 動物栄養学特論Ⅱ	2	1 後	選必	選	
		MSI7439 動物衛生学特論Ⅰ	2	1 前	選必	選	◎ 博士（獣医学） 鳥 居 恭 司 教授
		MSI7440 動物衛生学特論Ⅱ	2	1 後	選必	選	
	特論科目	MSI7441 動物行動学特論Ⅰ	2	1 前	選必	選	◎ 博士（学術） 内 山 秀 彦 教授
		MSI7442 動物行動学特論Ⅱ	2	1 後	選必	選	◎ 博士（獣医学） 増 田 宏 司 教授
		MSI7131 動物科学特別演習Ⅰ	2	1 前	必	必	◎ 博士（農学） 岩 田 尚 孝 教授
		MSI7132 動物科学特別演習Ⅱ	2	1 後	必	必	◎ 博士（学術） 内 山 秀 彦 教授
		MSI7133 動物科学特別演習Ⅲ	2	2 前	必	必	◎ 博士（医学） 庫 本 高 志 教授
		MSI7134 動物科学特別演習Ⅳ	2	2 後	必	必	◎ 博士（畜産） 桑 山 岳 人 教授 ◎ 博士（農学） 白 砂 孔 明 教授 ◎ 博士（獣医学） 鳥 居 恭 司 教授 ◎ 農学博士 野 村 こ う 教授 ◎ 博士（農学） 半 澤 恵 教授 ◎ 博士（畜産） 平 野 貴 教授 ◎ 博士（獣医学） 増 田 宏 司 教授
		MSI7135 動物科学特別実験Ⅰ	2	1 前	必	必	◎ 博士（農学） 岩 田 尚 孝 教授
		MSI7136 動物科学特別実験Ⅱ	2	1 後	必	必	◎ 博士（学術） 内 山 秀 彦 教授
		MSI7137 動物科学特別実験Ⅲ	2	2 前	必	必	◎ 博士（医学） 庫 本 高 志 教授
		MSI7138 動物科学特別実験Ⅳ	2	2 後	必	必	◎ 博士（畜産） 桑 山 岳 人 教授 ◎ 博士（農学） 白 砂 孔 明 教授 ◎ 博士（獣医学） 鳥 居 恭 司 教授 ◎ 農学博士 野 村 こ う 教授 ◎ 博士（農学） 半 澤 恵 教授 ◎ 博士（畜産） 平 野 貴 教授 ◎ 博士（獣医学） 増 田 宏 司 教授 博士（農学） 塚 本 智 史 非常勤講師 博士（農学） 橋 本 周 非常勤講師

博士後期課程

教育研究上の目的

動物科学について、生体から分子まで様々なレベルで教育と研究を実践する。動物・畜産関連の幅広い分野の諸問題に対し、自ら考え、検証し、対応することができ、国際的にも活躍の場を広げることができる人材を養成することを目的とする。

養成する人材像

環境保全を考慮した広範囲な畜産学・動物科学について生体から分子までのさまざまなレベルで生命科学領域と生産科学領域からの教育および研究を実践する。動物・畜産関連の幅広い分野で常に時代の要請に応え、様々な課題に対応できる、高度な知識と技術を併せ持つ、国際的にも活躍できる人材の養成を目的とする。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

動物科学専攻博士後期課程では、畜産・動物科学分野において、より高度で専門的な知識と技術を合わせ持ち関連分野で様々な課題に対応できる人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与する。

- 1) 畜産・動物科学分野を俯瞰した知識とより高度な専門知識を有している。
- 2) 課題に対し自ら考えこれを、高度なレベルで検証する意欲と、能力を有している。
- 3) 課題に対して国際レベルの解決策を導き出し、これを公表し、議論する意欲と能力を備えている。
- 4) 科学者としての倫理を理解し、社会の発展のため取り組む意欲を備えている。

履修方法

必修科目 12 単位、選択必修科目 2 単位（特論科目の中から主たる研究領域を選択）の合計 14 単位以上を修得すること。

博士後期課程

記号・略称は p.26、研究科共通科目は p.27 を参照してください。

科目区分	科目コード	科目名	単位	配当年次	必修選択	担当教員
専攻科目	DS17231	英語論文作成法	2	1 後	選	◎ 博士（農学） 岩 田 尚 孝 教授 ◎ 博士（学術） 内 山 秀 彦 教授 ◎ 博士（医学） 庫 本 高 志 教授 ◎ 博士（畜産） 桑 山 岳 人 教授 ◎ 博士（農学） 白 砂 孔 明 教授 ◎ 博士（獣医学） 鳥 居 恭 司 教授 ◎ 農学博士 野 村 こ う 教授 ◎ 博士（農学） 半 澤 惠 教授 ◎ 博士（畜産） 平 野 貴 教授 ◎ 博士（獣医学） 増 田 宏 司 教授
						◎ 博士（農学） 岩 田 尚 孝 教授 ◎ 博士（畜産） 桑 山 岳 人 教授 ◎ 博士（農学） 白 砂 孔 明 教授
						◎ 農学博士 野 村 こ う 教授
						◎ 博士（農学） 半 澤 惠 教授 ◎ 博士（畜産） 平 野 貴 教授
特論科目	DS17531	動物生殖学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士（農学） 岩 田 尚 孝 教授 ◎ 博士（畜産） 桑 山 岳 人 教授 ◎ 博士（農学） 白 砂 孔 明 教授
	DS17532	動物遺伝学後期特論	2	1 前	選必	◎ 農学博士 野 村 こ う 教授
	DS17533	動物生理学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士（農学） 半 澤 惠 教授 ◎ 博士（畜産） 平 野 貴 教授

科目区分		科目コード	科目名	単位	配当年次	必修選択	担当教員			
専攻科目	特論科目	DS17534	動物栄養学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士 (医学)	庫 本 高 志	教授	
		DS17535	動物衛生学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士 (獣医学)	鳥 居 恭 司	教授	
		DS17536	動物行動学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士 (学術)	内 山 秀 彦	教授	
研究指導科目							◎ 博士 (獣医学)	増 田 宏 司	教授	
		DS17131	特別研究指導Ⅰ	4	1 通	必	◎ 博士 (農学)	岩 田 尚 孝	教授	
		DS17132	特別研究指導Ⅱ	4	2 通	必	◎ 博士 (学術)	内 山 秀 彦	教授	
		DS17133	特別研究指導Ⅲ	4	3 通	必	◎ 博士 (医学)	庫 本 高 志	教授	
							◎ 博士 (畜産)	桑 山 岳 人	教授	
							◎ 博士 (農学)	白 砂 孔 明	教授	
							◎ 博士 (獣医学)	鳥 居 恭 司	教授	
							◎ 農学博士	野 村 こ う	教授	
							◎ 博士 (農学)	半 澤 恵	教授	
							◎ 博士 (畜産)	平 野 貴	教授	
							◎ 博士 (獣医学)	増 田 宏 司	教授	

農学研究科 生物資源開発学専攻

博士前期課程

教育研究上の目的

植物における生理生態学的知見、昆虫における分類学・形態学といった基礎昆虫学的知見、野生動物における生態学や行動学、進化学的知見を修得する。さらに、薬用資源の栽培・安定供給に関する栽培学的知識から、遺伝的多様性の潜在的価値の評価と活用のための知識までも身につける。これら生物資源の見識を有しつつ、論理的思考に基づき文章作成ならびにプレゼンテーションすることができる人材の育成を教育研究上の目的とする。

養成する人材像

植物、昆虫、動物から構成される生態系を保全・管理するとともに、それら生物資源の機能性を利活用することを目的としている。生態系の多様性、種の多様性、遺伝子（種内）の多様性を含む生物多様性について、形態、分類、生理、生態、行動、進化などの基礎生物学的視点と、飼育・繁殖、栽培、育種などの農学的視点で複合的に考究する。このような生物資源開発学のアプローチにより、諸問題の課題を解決するための科学的解析能力、論理的展開能力を備える人材を養成する。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

生物資源開発学専攻博士前期課程では、農学分野において、健全で調和のとれた人間性を有し国内外の研究・産業の発展に貢献する人材を輩出するため、所定の修了要件を満たし、以下の能力を備えた者に修士の学位を授与します。

- ① 植物における生理生態学的知見、昆虫における分類学・形態学といった基礎昆虫学的知見、野生動物における生態学や行動学、進化学的知見を有している。
- ② 生物資源の潜在的価値の評価と活用のための知識を有している。
- ③ 生物資源の見識を有しつつ、論理的思考に基づき文章作成ならびにプレゼンテーションする能力を有している。

履修方法

必修科目 22 単位、選択必修科目 2 単位（特論科目の中から主たる研究領域を選択）、選択科目 6 単位以上の合計 30 単位以上を修得すること。

博士前期課程

記号・略称は p.26、研究科共通科目は p.27 を参照してください。

科目区分	科目コード	科目名	単位	配当年次	必修選択	教職	担当教員
専攻科目	MS18231	論文英語	1	1前	必		◎ 博士（農学）石川 忠 教授
							◎ 博士（農学）小島 弘 昭 教授
							◎ 博士（理学）佐々木 剛 教授
							◎ 博士（林学）菱田 敦 之 教授
							◎ 博士（農学）松嶋 賢 一 教授
							◎ 博士（理学）松林 尚 志 教授
							◎ 博士（農学）三井 裕 樹 教授
							◎ 博士（農学）山田 晋 教授
							◎ 博士（農学）和久井 健 司 教授
							○ 博士（バイオ）小松 憲 治 准教授
							○ 博士（農学）綿引 大 祐 准教授
							博士（理学）菊地 デイル 万次郎 助教
							博士（薬学）倪 斯 然 助教
							博士（農学）船本 大 智 助教
							博士（開発）吉田 沙 樹 助教

科目 区分	科目コード	科 目 名	単位	配当 年次	必修 選択	教職	担 当 教 員
専攻科目	MS18232	研 究 倫 理	1	1 後	必		◎ 博士（農学）石 川 忠 教授 ◎ 博士（農学）小 島 弘 昭 教授 ◎ 博士（理学）佐々木 剛 教授 ◎ 博士（林学）菱 田 敦 之 教授 ◎ 博士（農学）三 井 裕 樹 教授 ◎ 博士（農学）山 田 晋 教授 ◎ 博士（農学）和久井 健 司 教授 ○ 博士（バイオ）小 松 憲 治 准教授 ○ 博士（農学）綿 引 大 祐 准教授 博士（理学）菊地 デイル万次郎 助教 博士（薬学）倪 斯 然 助教 博士（農学）船 本 大 智 助教 博士（開発）吉 田 沙 樹 助教
	MS18331	プレゼンテーション法	2	1 後	選		◎ 博士（農学）石 川 忠 教授 ◎ 博士（農学）小 島 弘 昭 教授 ◎ 博士（理学）佐々木 剛 教授 ◎ 博士（林学）菱 田 敦 之 教授 ◎ 博士（農学）松 嶋 賢 一 教授 ◎ 博士（理学）松 林 尚 志 教授 ◎ 博士（農学）三 井 裕 樹 教授 ◎ 博士（農学）山 田 晋 教授 ◎ 博士（農学）和久井 健 司 教授 ○ 博士（バイオ）小 松 憲 治 准教授 ○ 博士（農学）綿 引 大 祐 准教授 博士（理学）菊地 デイル万次郎 助教 博士（薬学）倪 斯 然 助教 博士（農学）船 本 大 智 助教 博士（開発）吉 田 沙 樹 助教
	MS18233	生物多様性管理学概論	2	1 前	必	必	◎ 博士（農学）石 川 忠 教授 ◎ 博士（農学）小 島 弘 昭 教授 ◎ 博士（理学）松 林 尚 志 教授 ◎ 博士（農学）山 田 晋 教授 ○ 博士（農学）綿 引 大 祐 准教授 博士（理学）菊地 デイル万次郎 助教 博士（農学）船 本 大 智 助教 博士（開発）吉 田 沙 樹 助教
	MS18234	生物資源利用学概論	2	1 前	必	必	◎ 博士（理学）佐々木 剛 教授 ◎ 博士（林学）菱 田 敦 之 教授 ◎ 博士（農学）松 嶋 賢 一 教授 ◎ 博士（農学）三 井 裕 樹 教授 ◎ 博士（農学）和久井 健 司 教授 ○ 博士（バイオ）小 松 憲 治 准教授 博士（薬学）倪 斯 然 助教
	MS18531	植物多様性学特論	2	1 後	選必	選	◎ 博士（農学）三 井 裕 樹 教授 ◎ 博士（農学）山 田 晋 教授
	MS18532	昆 虫 学 特 論	2	1 後	選必	選	◎ 博士（農学）石 川 忠 教授 ◎ 博士（農学）小 島 弘 昭 教授 ○ 博士（農学）綿 引 大 祐 准教授

科目区分	科目コード	科目名	単位	配当年次	必修選択	教職	担当教員
専攻科目 特論科目	MS18533	野生動物学特論	2	1後	選必	選	◎ 博士(理学) 佐々木 剛 教授 ◎ 博士(理学) 松 林 尚 志 教授
	MS18534	薬用資源学特論	2	1後	選必	選	◎ 博士(林学) 菱 田 敦 之 教授 ◎ 博士(農学) 松 嶋 賢 一 教授
	MS18535	遺伝資源利用学特論	2	1後	選必	選	◎ 博士(農学) 和久井 健 司 教授 ○ 博士(バイオ) 小 松 憲 治 准教授
研究科目	MS18131	生物資源開発学特別演習Ⅰ	2	1前	必	必	◎ 博士(農学) 石 川 忠 教授
	MS18132	生物資源開発学特別演習Ⅱ	2	1後	必	必	◎ 博士(農学) 小 島 弘 昭 教授
	MS18133	生物資源開発学特別演習Ⅲ	2	2前	必	必	◎ 博士(理学) 佐々木 剛 教授
	MS18134	生物資源開発学特別演習Ⅳ	2	2後	必	必	◎ 博士(林学) 菱 田 敦 之 教授
	MS18135	生物資源開発学特別実験Ⅰ	2	1前	必	必	◎ 博士(農学) 松 嶋 賢 一 教授
	MS18136	生物資源開発学特別実験Ⅱ	2	1後	必	必	◎ 博士(理学) 松 林 尚 志 教授
	MS18137	生物資源開発学特別実験Ⅲ	2	2前	必	必	◎ 博士(農学) 三 井 裕 樹 教授
	MS18138	生物資源開発学特別実験Ⅳ	2	2後	必	必	◎ 博士(農学) 山 田 晋 教授 ◎ 博士(農学) 和久井 健 司 教授 ※ 博士(理学) 秋篠宮 文 仁 非常勤講師

※：生物資源開発学特別演習Ⅰのみご担当

博士後期課程

教育研究上の目的

植物における生理生態学的知見、昆虫における分類学・形態学といった基礎昆虫学的知見、野生動物における生態学や行動学、進化学的知見を修得する。また、薬用資源の栽培・安定供給に関する栽培学・植物生産学的知見、および遺伝的多様性の潜在的価値の評価と活用のための知見を習得する。これら生物資源の先端の見識を有しつつ、論理的思考に基づき文章作成ならびにプレゼンテーションすることができる自立した研究者、または教育者となる人材の育成を教育研究上の目的とする。

養成する人材像

植物、昆虫、動物から構成される生態系を保全・管理するとともに、それら生物資源の機能性を利活用することを目的としている。生態系の多様性、種の多様性、遺伝子(種内)の多様性を含む生物多様性について、形態、分類、生理、生態、行動、進化などの基礎生物学的視点と、飼育・繁殖、栽培、育種などの農学的視点で複合的に考究する。このような生物資源開発学的アプローチにより、諸問題の課題を解決するための科学的解析能力、論理的展開能力を備え、国内外で活躍できる自立した研究者、または教育者となる人材を養成する。

学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

生物資源開発学専攻博士後期課程では、生物資源の利活用や持続可能な社会の実現に向けた課題を、遺伝子から生態系に至る生物多様性の様々なレベルを横断的に考究する生物資源開発学的アプローチにより解決するための科学的解析能力、論理的展開能力を備える人材を輩出するため、研究科が定める所定の単位を習得し博士論文を提出するとともに、研究指導をとおして、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与する。

- ① 生物多様性と生物資源に関する高度な専門知識と研究能力を有している。
- ② 研究者としての自覚と高い倫理観をもって研究に取り組むことができる。
- ③ 研究テーマについて最新の手法に基づきデータを収集し、分析することができる。
- ④ 論理的な思考に基づく文章およびプレゼンテーションによる国内外で活躍できるための表現能力を有している。

履修方法

必修科目 14 単位、選択必修科目 2 単位（特論科目の中から主たる研究領域を選択）の合計 16 単位以上を修得すること。

博士後期課程

記号・略称は p.26、研究科共通科目は p.27 を参照してください。

科目 区分	科目コード	科 目 名	単位	配当 年次	必修 選択	担 当 教 員
専攻科目	基礎科目	DS18231 英語論文作成法	2	1 後	必	◎ 博士（農学） 石 川 忠 教授 ◎ 博士（農学） 小 島 弘 昭 教授 ◎ 博士（理学） 佐々木 剛 教授 ◎ 博士（農学） 松 嶋 賢 一 教授 ◎ 博士（理学） 松 林 尚 志 教授 ◎ 博士（農学） 三 井 裕 樹 教授 ◎ 博士（農学） 山 田 晋 教授 ◎ 博士（農学） 和久井 健 司 教授 博士（薬学） 倪 斯 然 助教
		DS18531 植物多様性学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士（農学） 三 井 裕 樹 教授 ◎ 博士（農学） 山 田 晋 教授
		DS18532 野生動物学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士（理学） 佐々木 剛 教授 ◎ 博士（理学） 松 林 尚 志 教授
		DS18533 昆虫学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士（農学） 石 川 忠 教授 ◎ 博士（農学） 小 島 弘 昭 教授
		DS18534 薬用資源学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士（農学） 松 嶋 賢 一 教授
		DS18535 遺伝資源利用学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士（農学） 和久井 健 司 教授
	特論科目	DS18131 特別研究指導Ⅰ	4	1 通	必	◎ 博士（農学） 石 川 忠 教授
		DS18132 特別研究指導Ⅱ	4	2 通	必	◎ 博士（農学） 小 島 弘 昭 教授
		DS18133 特別研究指導Ⅲ	4	3 通	必	◎ 博士（理学） 佐々木 剛 教授 ◎ 博士（農学） 松 嶋 賢 一 教授 ◎ 博士（理学） 松 林 尚 志 教授 ◎ 博士（農学） 三 井 裕 樹 教授 ◎ 博士（農学） 山 田 晋 教授 ◎ 博士（農学） 和久井 健 司 教授

農学研究科 デザイン農学専攻

博士前期課程

教育研究上の目的

イノベーション農学、およびサステナビリティ農学の二つの相互俯瞰的な視点から、豊かで持続可能な社会の構築に貢献することを目的とする。

また、作物の栽培や家畜の飼養に基づく食料生産だけでなく、農畜産物の加工・利用、食品の機能や特性・品質などに関する分析、それを踏まえた新たな食の利用法を探索・提案するための方法論、生物の持つ機能とその利用に関する分析、農産物や製品の流通、あるいは生物を活用した人の心身の健康への貢献などに関する概念や分析等に関する知識や技術を習得する。その上で、新たな機能の開発、利活用、食農問題を含めた、設計科学としての農学に基づいた社会のあり方を設計（デザイン）する能力の養成を目的とする。

養成する人材像

「設計科学としての農学（日本学術会議の定義）」を基盤として農の多面的機能に関する幅広い知識と知恵を活かしながら、科学的な知見の蓄積とそれに基づいた社会実装により、豊かで持続可能な社会を設計（デザイン）し実現することに貢献する人材の養成を目的とする。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

デザイン農学専攻博士前期課程では、イノベーション農学、およびサステナビリティ農学の二つの相互俯瞰的な視点から、豊かで持続可能な社会の構築に貢献する人材を輩出するため、所定の修了要件を満たし、以下の能力を備えた者に修士の学位を授与します。

- ① 作物の栽培や家畜の飼養に基づく食料生産だけでなく、農畜産物の加工・利用、食品の機能や特性・品質などに関する分析する能力を有している。
- ② 新たな食の利用法を探索・提案するための方法論、生物の持つ機能とその利用に関する分析、農産物や製品の流通、あるいは生物を活用した人の心身の健康への貢献などに関する概念や分析等に関する知識や技術を備えている。
- ③ 新たな機能の開発、利活用、食農問題を含めた、設計科学としての農学に基づいた社会のあり方を設計（デザイン）する能力を有している。

履修方法

必修科目 24 単位、選択必修科目 4 単位（特論科目の中から主たる研究領域を 2 科目を選択）、選択科目 2 単位以上の合計 30 単位以上を修得すること。

博士前期課程

記号・略称は p.26、研究科共通科目は p.27 を参照してください。

科目区分	科目コード	科目名	単位	配当年次	必修選択	教職	担当教員
専攻科目	MS19231	研究倫理	2	1 前	必		◎ 農学博士 加藤 浩 教授 ◎ 博士（農学） 櫻井 健志 教授 ◎ 博士（情報科学） 高久 康春 教授 ◎ 博士（農芸化学） 多田 耕太郎 教授 ◎ 博士（農芸化学） 谷口 亜樹子 教授 ◎ 博士（獣医学） 土田 あさみ 教授 ◎ 博士（農芸化学） 野口 治子 教授 ◎ 博士（農学） 松田 浩敬 教授 ○ 博士（農芸化学） 風見 真千子 准教授

科目 区分	科目コード	科 目 名	単位	配 当 年次	必修 選択	教職	担 当 教 員
専攻科目	MS19232	論文英語	2	1 前	必		◎ 農学博士 加藤 浩 教授 ◎ 博士（農学） 櫻井 健志 教授 ◎ 博士（情報科学） 高久 康春 教授 ◎ 博士（農芸化学） 多田 耕太郎 教授 ◎ 博士（農芸化学） 谷口 亜樹子 教授 ◎ 博士（獣医学） 土田 あさみ 教授 ◎ 博士（農芸化学） 野口 治子 教授 ◎ 博士（農学） 松田 浩敬 教授 ○ 博士（農芸化学） 風見 真千子 准教授
	MS19331	プレゼンテーション法	2	1 後	選		◎ 農学博士 加藤 浩 教授 ◎ 博士（農学） 小池 安比古 教授 ◎ 博士（農学） 櫻井 健志 教授 ◎ 博士（情報科学） 高久 康春 教授 ◎ 博士（農芸化学） 多田 耕太郎 教授 ◎ 博士（農芸化学） 谷口 亜樹子 教授 ◎ 博士（獣医学） 土田 あさみ 教授 ◎ 博士（農芸化学） 野口 治子 教授 ◎ 博士（農学） 松田 浩敬 教授 ○ 博士（環境科学） 入澤 友啓 准教授 ○ 博士（農芸化学） 風見 真千子 准教授 博士（獣医学） 川嶋 亮輔 助教 博士（環境科学） 小泉 亮輔 助教 博士（学術） 森元 真理 助教
	MS19233	デザイン農学詳論	2	1 前	必	必	◎ 農学博士 加藤 浩 教授 ◎ 博士（農学） 櫻井 健志 教授 ◎ 博士（情報科学） 高久 康春 教授 ◎ 博士（農芸化学） 多田 耕太郎 教授 ◎ 博士（農芸化学） 谷口 亜樹子 教授 ◎ 博士（獣医学） 土田 あさみ 教授 ◎ 博士（農芸化学） 野口 治子 教授 ◎ 博士（農学） 松田 浩敬 教授 ○ 博士（農芸化学） 風見 真千子 准教授
	MS19234	イノベーション農学実験調査法	2	1 前	選	選	◎ 博士（農学） 櫻井 健志 教授 ◎ 博士（情報科学） 高久 康春 教授 ◎ 博士（農芸化学） 多田 耕太郎 教授 ◎ 博士（農芸化学） 谷口 亜樹子 教授 ◎ 博士（農芸化学） 野口 治子 教授 ○ 博士（環境科学） 入澤 友啓 准教授 ○ 博士（農芸化学） 風見 真千子 准教授
	MS19235	サステイナビリティ農学実験調査法	2	1 前	選	選	◎ 農学博士 加藤 浩 教授 ◎ 博士（農学） 小池 安比古 教授 ◎ 博士（獣医学） 土田 あさみ 教授 ◎ 博士（農学） 松田 浩敬 教授

科目区分		科目コード	科目名	単位	配当年次	必修選択	教職	担当教員			
		MS19236	特別講義	2	1 後	必		◎ 農学博士	加藤 浩	教授	
								◎ 博士（農学）	小池 安比古	教授	
								◎ 博士（農学）	櫻井 健志	教授	
								◎ 博士（情報科学）	高久 康春	教授	
								◎ 博士（農芸化学）	多田 耕太郎	教授	
								◎ 博士（農芸化学）	谷口 亜樹子	教授	
								◎ 博士（獣医学）	土田 あさみ	教授	
								◎ 博士（農芸化学）	野口 治子	教授	
								◎ 博士（農学）	松田 浩敬	教授	
								○ 博士（環境科学）	入澤 友啓	准教授	
								○ 博士（農芸化学）	風見 真千子	准教授	
								博士（獣医学）	川嶋 舟	准教授	
								博士（環境科学）	小泉 亮輔	助教	
								博士（学術）	森元 真理	助教	
専攻科目	特論科目	MS19531	イノベーション農学特論Ⅰ	2	1 前	選必	選	◎ 博士（農学）	櫻井 健志	教授	
		MS19532	イノベーション農学特論Ⅱ	2	1 後	選必	選	◎ 博士（情報科学）	高久 康春	教授	
								◎ 博士（農芸化学）	多田 耕太郎	教授	
								◎ 博士（農芸化学）	谷口 亜樹子	教授	
								◎ 博士（農芸化学）	野口 治子	教授	
								○ 博士（環境科学）	入澤 友啓	准教授	
								○ 博士（農芸化学）	風見 真千子	准教授	
		MS19533	サステナビリティ農学特論Ⅰ	2	1 前	選必	選	◎ 農学博士	加藤 浩	教授	
		MS19534	サステナビリティ農学特論Ⅱ	2	1 後	選必	選	◎ 博士（農学）	小池 安比古	教授	
								◎ 博士（獣医学）	土田 あさみ	教授	
研究科目		MS19131	デザイン農学特別演習Ⅰ	2	1 前	必	必	◎ 農学博士	加藤 浩	教授	
		MS19132	デザイン農学特別演習Ⅱ	2	1 後	必	必	◎ 博士（農学）	小池 安比古	教授	
		MS19133	デザイン農学特別演習Ⅲ	2	2 前	必	必	◎ 博士（農学）	櫻井 健志	教授	
		MS19134	デザイン農学特別演習Ⅳ	2	2 後	必	必	◎ 博士（情報科学）	高久 康春	教授	
		MS19135	デザイン農学特別実験Ⅰ	2	1 前	必	必	◎ 博士（農芸化学）	多田 耕太郎	教授	
		MS19136	デザイン農学特別実験Ⅱ	2	1 後	必	必	◎ 博士（農芸化学）	谷口 亜樹子	教授	
		MS19137	デザイン農学特別実験Ⅲ	2	2 前	必	必	◎ 博士（獣医学）	土田 あさみ	教授	
		MS19138	デザイン農学特別実験Ⅳ	2	2 後	必	必	◎ 博士（農芸化学）	野口 治子	教授	
								◎ 博士（農学）	松田 浩敬	教授	
								○ 博士（環境科学）	入澤 友啓	准教授	
								○ 博士（農芸化学）	風見 真千子	准教授	

博士後期課程

教育研究上の目的

食料問題、環境・資源・エネルギー問題等の人類的課題間の複雑かつ複層的な関係性を踏まえ、イノベーション農学、サステナビリティ農学の二つの視点から解決を図りつつ、持続可能な社会を構築するための設計科学としての農学に基づく「デザイン農学」の視点に立った教育研究を展開する。

また、高度な専門知識と技術に基づいた人類的課題の分析、生物やその生産物の持つ多面的な機能性を利用した技術・新機能性製品の開発による解決策の開発、さらにそれらを有機的に組み合わせた生活あるいは社会のデザイン、その社会実装のための国内外の産・学・官・民といった様々なステークホルダーとの協働による持続可能な社会の構築に貢献できる自立した研究者または教育者となる人材を養成することを目的とする。

養成する人材像

デザイン農学とは「設計科学としての農学（日本学術会議の定義）」を基盤として農の多面的機能に関する幅広い知識と知恵を活かしながら、科学的な知見の蓄積とそれに基づいた社会実装により、豊かで持続可能な社会を設計（デザイン）し実現することを目標とする。本専攻ではこのデザイン農学の視点による新たな価値観に基づく持続可能な社会を構築するうえで必要となる研究課題に対して、基礎・応用の両面から研究遂行能力を修得できる教育研究体制のもと、既存・新規研究課題間の複雑かつ複層的な関係を適確に捉え、その課題解決のための情報・知識・技術の選択と複合、あるいはそれらを新たに開発し、さらにその結果に基づく社会実装を通じた生活や社会をデザインするための科学的解析能力、論理的展開能力、合意形成力を備え、持続可能な社会の構築に貢献できる自立した研究者または教育者となる人材を育成する。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

デザイン農学専攻博士後期課程では、既存・新規研究課題間の複雑かつ複層的な関係を適確に捉え、その課題解決のための情報・知識・技術の選択と複合、あるいはそれらを新たに開発し、さらにその結果に基づく社会実装を通じた生活や社会をデザインするための科学的解析能力、論理的展開能力、合意形成力を備え、持続可能な社会の構築に貢献できる自立した研究者または教育者となる人材を養成するため、研究科が定める所定の単位を修得し博士論文を提出するとともに、以下の能力を備えた学生に博士の学位を授与する。

- ① イノベーション農学、サステナビリティ農学からなるデザイン農学に関する高度な専門知識と技術に基づいた研究能力を有している。
- ② デザイン農学の視点による新たな価値観に基づく持続可能な社会を構築するうえで解決すべき諸問題に関して必要な情報を的確に得、自ら解析する能力を有している。
- ③ デザイン農学分野に対する強い関心を持ち、生物やその生産物の持つ多面的な機能性を利用した技術や新機能性製品の開発とそれらを有機的に組み合わせた生活あるいは社会をデザインすることによる、新たな価値に基づく持続可能な社会の構築に貢献する能力を有している。
- ④ デザイン農学分野にかかわる研究成果を、産・学・官・民といった国内外の様々なステークホルダーに発信し、それらと協働できる能力を有している。
- ⑤ 論理的展開能力を備え、持続可能な社会の構築に貢献できる。

履修方法

必修科目 14 単位、選択必修科目 2 単位（特論科目の中から主たる研究領域を選択）の合計 16 単位以上を修得すること。

博士後期課程

記号・略称は p.26、研究科共通科目は p.27 を参照してください。

科目 区分	科目コード	科 目 名	単位	配当 年次	必修 選択	担 当 教 員
専攻科目	基礎科目	DS19231 英語論文作成法	2	1 後	必	◎ 農学博士 加藤 浩 教授 ◎ 博士（農学）小池 安比古 教授 ◎ 博士（農学）櫻井 健志 教授 ◎ 博士（農芸化学）多田 耕太郎 教授 ◎ 博士（農芸化学）谷口 亜樹子 教授 ◎ 博士（農芸化学）野口 治子 教授 ◎ 博士（農学）松田 浩敬 教授 ○ 博士（環境共生学）入澤 友啓 准教授 ○ 博士（農芸化学）風見 真千子 准教授 博士（獣医学）川嶋 舟 准教授 博士（環境共生学）小泉 亮輔 助教 博士（学術）森元 真理 助教
		DS19531 イノベーション農学後期特論	2	1 前	選必	◎ 博士（農学）櫻井 健志 教授 ◎ 博士（農芸化学）多田 耕太郎 教授 ◎ 博士（農芸化学）谷口 亜樹子 教授 ◎ 博士（農芸化学）野口 治子 教授 ○ 博士（環境共生学）入澤 友啓 准教授
		DS19532 サステナビリティ農学後期特論	2	1 前	選必	◎ 農学博士 加藤 浩 教授 ◎ 博士（農学）小池 安比古 教授 ◎ 博士（農学）松田 浩敬 教授
		DS19131 特別研究指導Ⅰ	4	1 通	必	◎ 農学博士 加藤 浩 教授
		DS19132 特別研究指導Ⅱ	4	2 通	必	◎ 博士（農学）小池 安比古 教授
研究指導科目		DS19133 特別研究指導Ⅲ	4	3 通	必	◎ 博士（農学）櫻井 健志 教授 ◎ 博士（農芸化学）多田 耕太郎 教授 ◎ 博士（農芸化学）谷口 亜樹子 教授 ◎ 博士（農芸化学）野口 治子 教授 ◎ 博士（農学）松田 浩敬 教授 ○ 博士（環境共生学）入澤 友啓 准教授